

重点プロジェクト

重点プロジェクトの趣旨

重点プロジェクトの施策体系

重点プロジェクトの展開

3 重点プロジェクト

重点プロジェクトの趣旨

本町の「第2次総合振興計画」において、基本構想の将来像『ひと・まち・自然 みんなで紡ぐ さつま町』の実現に向けて、「町民」、「地域」、「各種団体」、「事業者」、「行政」などの多様な主体の協働による取組を、「みんなで紡ぐ」をキーワードに横断的な視点で実践する施策として、将来像の実現を目指します。

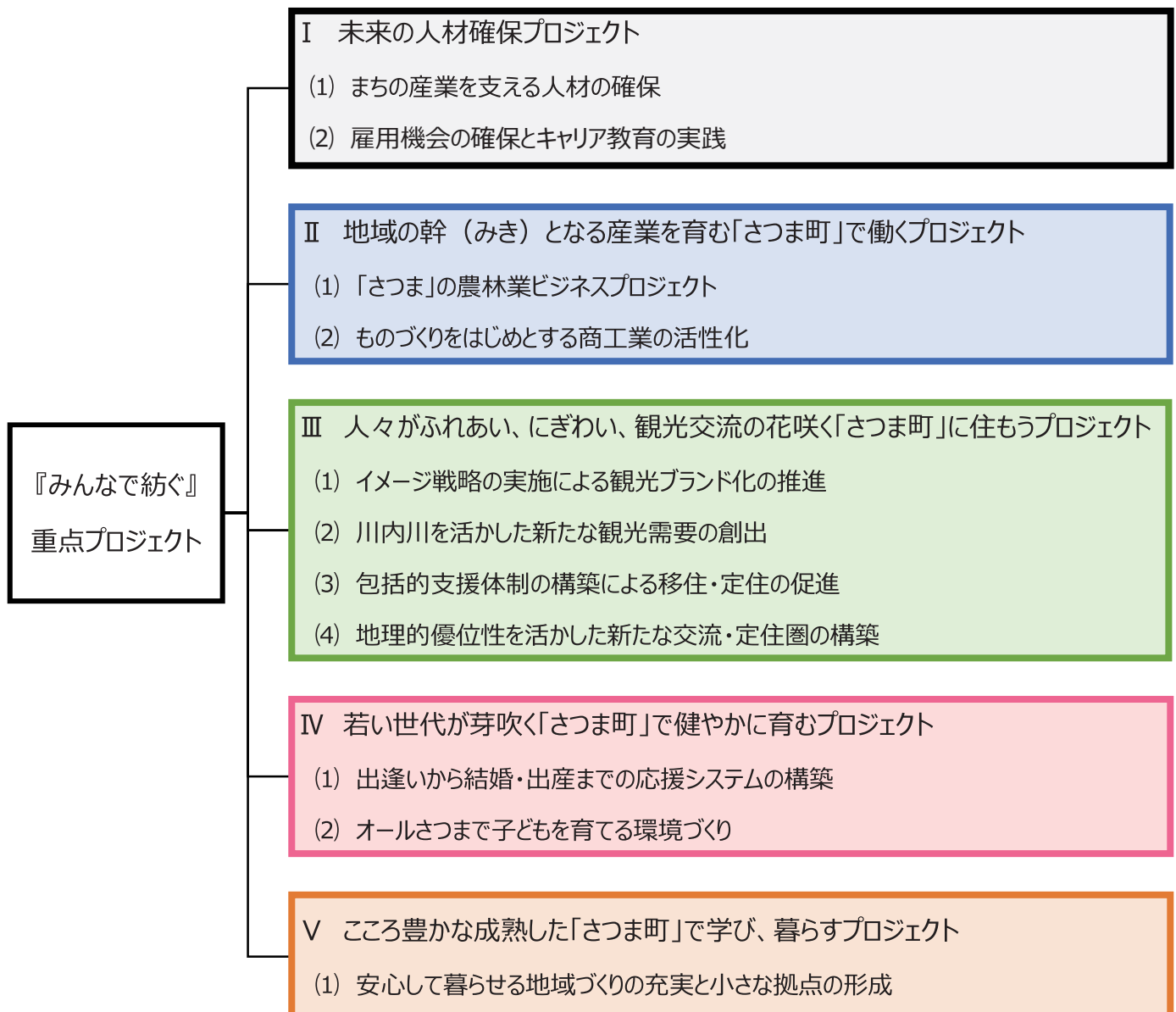
今後も、少子高齢化の進行、人口減少問題、住民ニーズの多様化、厳しい財政状況等を考慮しつつ、政策・施策を展開していくことが重要です。

このことから、人口減少克服と地方創生を目的とした「第2期さつま町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を、第2次さつま町総合振興計画後期基本計画で示した分野別体系を横断した、①雇用、②移住・定住、③結婚・出産・子育て、④地域づくりの4つの分野について、特に重点的・優先的な取組を

『みんなで紡ぐ』重点プロジェクト

として位置づけます。

重点プロジェクトの施策体系



3 重点プロジェクト

重点プロジェクトの展開

I 未来の人材確保プロジェクト

1 基本的方向

- ◆ 各産業における人手不足が大きな社会問題となっている中で、今後の人口減少の局面において次世代を担う若者や子どもたちが活躍し、将来にわたって持続可能な社会を構築するため、これからの「さつま町を支える人づくり」を目指して、担い手の育成などの「人づくり」や雇用機会の確保・多様な働き方の実現などの「環境づくり」について、横断的に施策を推進します。

2 具体的な施策

(1) まちの産業を支える人材の確保	① 地域を支える人材の確保・育成
	② 高齢者・障がい者などに対応する福祉人材の確保
	③ 農林業の担い手の確保・育成
	④ 起業支援と事業承継者の支援
	⑤ 都市部の人材を地方で活かす副業・兼業による多様な働き方の推進
(2) 雇用機会の確保とキャリア教育の実践	① インターンシップ等の実施による勤労観・職業観の育成
	② 移住・定住希望者への求職支援
	③ 企業と連携した多様な雇用の確保

II 地域の幹（みき）となる産業を育む「さつま町」で働くプロジェクト

1 基本的方向

- ◆ 基幹産業である農林業の振興対策を総合的・計画的に推進するとともに、「将来にわたって持続可能で多様な農業生産」と「活力ある農村環境の確立」を目指すための施策を推進します。
- ◆ 効率的・効果的な農業生産が行えるように、次世代技術等を活用した新たな生産技術の実証試験を推進するとともに、就農支援のための各種研修制度等を活用し、新規就農者の確保に努めます。
- ◆ 地域経済の活性化に向けて、これまでの製造業中心の産業創出に加え、新たに地域の特色を活かした産業を創出し、町の持続的な発展に必要な労働力の確保と雇用環境の拡大に努めます。

2 具体的な施策

(1) 「さつま」の農林業ビジネスプロジェクト	① 地産地消の推進と新たなビジネスの展開
	② まちぐるみによる6次産業化の促進
	③ 農産物販売促進戦略の積極的な展開
	④ 地域農林業人材の確保・育成
	⑤ 竹林整備による安定供給体制の構築
(2) ものづくりをはじめとする商工業の活性化	① ものづくり関連企業等の誘致、連携による産業基盤強化および魅力向上
	② 地域性・独自性に長けた魅力ある商業の振興
	③ 創業支援及び担い手の確保

3 重点プロジェクト

Ⅲ 人々がふれあい、にぎわい、観光交流の花咲く「さつま町」に住もうプロジェクト

1 基本的方向

- ◆ さつま町に定住する人や観光などで訪問する人が増えるように、町の魅力である自然や温泉等のPR、また、これらを活用したイベントなど町の取組を町内外に積極的に情報発信し、移住・定住につながるシティプロモーション活動を推進します。
- ◆ 交流人口・関係人口の増加と地域活性化に向け、多様化する国内外の観光客のニーズを満たす多面的な取組を包括的に推進し、観光・交流機能を充実させるとともに、関係団体等と連携した広域観光体制づくりを推進します。
- ◆ 東京圏など都市部からの移住や人材の還流を図るため、移住施策関係情報の発信や相談対応など、UIJターン※1の促進につながる取組を推進するとともに、実際の移住につながるよう住宅や生活面でのサポート環境を整えます。
- ◆ 観光やスポーツ合宿等を契機とした交流人口の拡大を図りながら、更に本町との縁や関わりを深める関係人口の創出・拡大を目指します。また、関係人口が移住につながる仕組みの構築を目指します。

2 具体的な施策

(1) イメージ戦略の実施による観光ブランド化の推進	① 「美」をキーワードとするイメージ戦略の実施
	② イメージ戦略における受入体制の整備
(2) 川内川を活かした新たな観光需要の創出	① 周辺自治体、団体との連携による広域観光交流の充実
(3) 包括的支援体制の構築による移住・定住の促進	① ワンストップサービスによる支援体制の構築
	② 移住・定住希望者に対する包括的な生活支援の実施
(4) 地理的優位性を活かした新たな交流・定住圏の構築	① 北薩地域におけるベッドタウン化の推進
	② 地域の強みを活かした交流促進

Ⅳ 若い世代が芽吹く「さつま町」で健やかに育むプロジェクト

1 基本的方向

- ◆ 若い世代を中心に結婚・子育てへの関心を高めるとともに、結婚や出産を望む全ての人の希望がかなうよう、出逢いから結婚、出産・子育てのしやすい環境づくりを進めます。
- ◆ 保護者が安心して子育てができるように、子育て支援施策を多面的に展開するとともに、子育て世帯の費用負担軽減など、経済的な支援策を講じます。
- ◆ 小学生時期から地域の歴史や文化、自然についての学習を進めるとともに、郷土芸能の継承活動など地域と一体となった学校教育等を通じて、地域への愛着や関心を高める取組を推進します。
- ◆ 本町唯一の高校である薩摩中央高等学校の活性化を図るため、各種の支援策・振興策により生徒確保を図るとともに、生徒の活躍や学校の取組などの情報発信、町内企業や事業所等との連携した取組を推進します。

※1 **UIJターン**とは、Uターン（地方から都市へ移住したあと、再び地方へ移住すること）・Iターン（地方から都市へ、または都市から地方へ移住すること）・Jターン（地方から大規模な都市へ移住したあと、地方近くの都市へ移住すること）の総称で、首都圏などの大都市圏から地方に移住すること

3 重点プロジェクト

2 具体的な施策

(1) 出逢いから結婚・出産までの応援システムの構築	① 地域等での出逢いの場の創出
	② いのちを育む教育と産前・産後ケアの体制づくり
(2) オールさつまで子どもを育てる環境づくり	① 子育て世代を応援する切れ目のない支援サービス
	② オールさつまで子どもを育てる環境づくり

V こころ豊かな成熟した「さつま町」で学び、暮らすプロジェクト

1 基本的方向

- ◆ 全ての町民がそれぞれの体力や年齢に応じた運動やスポーツを楽しみ、健康づくりによって活力ある地域づくりにつながるよう、活動機会の充実を図ります。
- ◆ 地域づくり活性化計画の着実な実行による住民主体のまちづくりを支援するとともに、地域で暮らす人達が、年齢や性別、国籍などに関係なく、安全で安心して暮らすことができ、地域活動や地域づくりに積極的に参加できる環境づくりを進めます。
- ◆ 町民の日常生活上での移動手段として、地域のニーズにあった交通体系の充実とモビリティ・マネジメント※1に取り組めます。
- ◆ 情報基盤の更なる拡充や情報システムの利活用を通して、町民生活の質の向上と地域活性化を推進します。
- ◆ 町民全員が心豊かに生きがいのある充実した生活を営み、魅力と活力ある地域づくりにつなげるため、子どもからお年寄りまでのすべての世代が学べる社会教育の環境づくりを推進します。

2 具体的な施策

(1) 安心して暮らせる地域づくりの充実と小さな拠点の形成	① 健康寿命の延伸に向けた地域で支える体制づくりの推進
	② 住民参画による地域づくり活動の支援
	③ 便利で快適な生活環境の構築
	④ 知的風土の醸成に向けた地域担い手の育成

※1 モビリティ・マネジメントとは、多様な交通施策を活用し、個人や組織・地域のモビリティ（移動状況）が社会にも個人にも望ましい方向へ自発的に変化することを促す取組です。